

質問に対する回答について

工事名) 東北自動車道 磐井川橋床版取替工事

質問事項と回答

番号	質問箇所	質問事項	回 答
1	設計図磐井川橋(下り線)[渡り線工事]2/21~4/21	「仮路面標示工B1(上り通行帯 左側)418.328KP~419.252KP」について、2/21の図面ではL=924mで3/21と4/21の図面ではL=1723mとなっています。1723mの表記は間違いでしょうか。	「仮路面標示工B1(上り通行帯 左側)418.328KP~419.252KP」については、2/21の図面の数値L=924mが正となります。後日、訂正公告いたします。
2	設計図磐井川橋(下り線)[渡り線工事]5/21~7/21	復旧時の平面図(4)~(6)について渡り線撤去時の「構造物等取壊しアスファルト舗装版取壊し(TypeA)」の後、アスファルト表層の復旧方法についての考え方をご教示ください。	本工事では図書に示す通り、「構造物等取壊しアスファルト舗装版取壊し(TypeA)」までの施工です。ただし、「土木工事請負契約における設計変更ガイドライン」の要件を満たす項目がある場合は設計変更の対象となります。
3	設計図磐井川橋(下り線)[支承取替工事]	支承取替詳細図6/20他の台座コンクリートについて、材料表に「コンクリート体積(モルタル)」と記載があります。台座の厚さ約220mm程度ございますが、全て無収縮モルタルで打設するという考えでよろしいでしょうか。	全て無収縮モルタルとなります。ただし、詳細設計により変更となる場合は設計変更の対象となります。
4	設計図磐井川橋(下り線)[支承取替工事]	支承取替詳細図6/20他の支承アンカーボルト孔の削孔径について、アンカーボルト径φ70に6mmの鉄線が螺旋状に取付けられているため、「70mm+6mm+6mm=82mm」となりφ80の削孔径では支承が設置できないと思われます。適切なコア削孔径についてご教示下さい。	コア削孔径については、φ90mmとなります。後日、訂正公告いたします。
5	入札説明書	質問回答書の提出につきまして、書面およびCD-Rでの提出となっておりますが、昨今のコロナウイルス感染拡大の状況から、質問回答書の提出をメール等のみにしていただくことは可能でしょうか。ご検討の程、どうぞ宜しくお願い致します。	質問書のメール提出は、現在、受付しておりません。入札公告(説明書)に記載の通り、持参又郵送(書留郵便若しくは信書便)で、ご提出をお願い致します。

6	設計図磐井川橋（下り線）（上り線） 〔支承取替工事〕	既設台座コンクリートの壊し数量が設計図面および数量計算書にありません。数量をご教示ください。また、既設支承図面がありましたらご教示ください。	磐井川橋（下り線）（上り線）の支承取替工では既設台座コンクリート等のコンクリートの取壊しはありません。既設支承図面については、後日訂正公告にて追加いたします。
7	特記仕様書 P56	鳴瀬川橋 詳細設計 F・G について詳細設計 F の数量は 6 連、詳細設計 G の数量は 3 連とあります。公告資料の参考図にあります鳴瀬川橋 橋梁一般図のどこの範囲を示しているのでしょうか。ご教示ください。	詳細設計 F（鳴瀬川橋上り線）の数量が 2 連（A1～P6）となります。詳細設計 G（鳴瀬川橋下り線）の数量は 1 連（A1～P3）となります。後日、訂正公告いたします。